

令和元年度
「共に支え合う未来を創る」
助成金 決定団体

- 1 徳島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 (鳴門市)
「被災後の人つなぎ・まちづくりセミナー」
- 2 特定非営利活動法人徳島県ボランティア協議会 (徳島市)
「オレンジカフェ・ハンドメイド合同作品展」
- 3 社会福祉法人三好市社会福祉協議会三野支所 (三好市)
「地域における防災意識の高揚及び各年齢層
における防災リーダーの育成」
- 4 社会福祉法人悠林舎障害者支援施設シーズ (阿南市)
「防災にふれあう会 in シーズ「防災教室」」
- 5 特定非営利活動法人吉野川市文化協会 (吉野川市)
「なぜ法隆寺は 1300 年ももってきたか」



とくしま
福祉広報
200号
december.2019

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合福祉センター内
tel: 088-654-4461 fax: 088-654-9250
e-mail: info@e-fukushi.jp http://fukushi-tokushima.or.jp/

「共に支え合う未来を創る」
助成事業

本会では一昨年度より、時代とともに変化する様々な福祉課題を解決し、共に支え合う未来を創るため、徳島県内の社会貢献活動団体や多様な機関が相互に連携し、課題解決に必要な資金を助成するための事業として、「共に支え合う未来を創る」助成事業を実施しております。

この助成事業により、各地域で「健全育成」「生活支援」「健康維持」「災害対策」「共に支え合う地域づくり」がより一層広がることを期待します。



「地域における防災意識の高揚及び各年齢層における防災リーダーの育成」

県立防災センターへの視察研修等を行い、各年代別に中核となる人材育成を図りました。

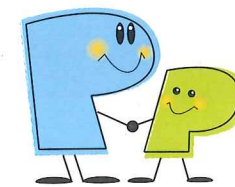


実施事業を一部
ご紹介いたします！

「なぜ法隆寺は 1300 年ももってきたか」
吉野川市出身の東京大学名誉教授坂本功氏による御講演の中で、文化を通して支え合う地域づくりを考えました。



とくしま県民活動プラザ
770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地
沖洲マリンターミナルビル1F
tel:088-664-8211 fax:088-664-5345
e-mail:info@plaza-tokushima.com
http://www.plaza-tokushima.com
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日、年末年始)



マスコットキャラクター プラザ



認定 NPO 法人
スペシャルオリンピックス日本・徳島
知的障害のある人にスポーツを



「スペシャルオリンピックス日本・徳島 (SON・徳島) は、知的障害のあるアスリートにスポーツプログラムを提供し、アスリートの健康を増進し、勇気をふるい、喜びを感じ、家族や地域の人々と才能や技能そして友情を分かちあうことができるよう、日常的なスポーツトレーニングや定期的な競技会を実施するとともに、スペシャルオリンピックス (SO) の活動を広く知っていただくための広報活動など、様々な取組を行っている団体です。日々活動しているアスリートやボランティアの皆さんの具体的な活動内容をご紹介します。



特集 認定NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・徳島
知的障がいのある人にスポーツを

ひと 自分の「悪」の経験を「善」に生かしたい
NPO 法人 轍(わだち) 吉崎 恵三郎さん

シリーズ この人から
「研究開発に込めた想い」
NPO 法人 エコロジカル・ファーストエイド
佐藤 貴志さん

ハートリレー
No.49 木村さんから秋山さんへ

地域の中での自分の居場所づくり
人生 100 年時代
「地域の中で自分を活かそう」 古川 明美さん

子どもたちのボランティア活動
大歩危駅前集落体験プログラム
「はにかむ体験」 城ノ内高校 JRC 部



Special Olympics Nippon Tokushima



知的障害のある人にスポーツを
障がいの有無に関わらず、すべての人が共に生き、
共に育つ社会を



スポーツが
苦手でも
大丈夫!

SOの活動に参加する知的障がいのある人を「アスリート」と呼んでいます。スポーツはアスリートの健康や体力増進だけでなく、多くの

人たちと交流することで彼らの社会性を育てていきます。

アスリート、ファミリー、ボランティア、すべての参加者がSO活動の参加者です。スポーツ活動を通じて心身の健康の増進はもちろん、ともに楽しみ友情を分かち合い、経験を重ねながら、それぞれの可能性を広げています。

ボランティア
も一緒に
チャレンジ!



~Go for Challenge~ (勇気と元気)



たどころ けんさく
理事長 田所 健作さん

スペシャルオリンピックスのアスリートたちは、まさに The Challengers です。初めてのこ

とや経験が少ないことに取り組むことには誰も勇気が必要です。けれども、彼らは少しずつ勇気を振り絞り新しいことに元気に挑戦し続けています。そして、それまでできなかったことができるようになった時、喜びを感じ自信を持つようになります。関わっている我々もそんなアスリートの成長した姿に触れることで、たくさんの感動をいただいています。

スペシャルオリンピックスは、スポーツをメインとした活動を通して、いろんなことを学びまた体験できる場所です。この学びや体験が共生の社会の発展に少しでも寄与できることを願っています。

皆さん、この活動に参加してみませんか。楽しいですよ。ご参加をこころよりお待ちしております。

SON・徳島で活動しているスポーツプログラムです。
月2~3回、2時間程度のプログラムを年間を通して実施しています。

アットホームな雰囲気のスポートプログラムです。
誰でも参加できます。アスリートとして、ボランティアとして
お気軽に参加してください!事務局

競泳

障がい者スポーツセンタープール。第1~第3水曜日コーチの指導のもと、それぞれのペースに合わせてトレーニングをしています。



バドミントン

障がい者スポーツセンター体育館。最初はラケットにシャトルが当たらなかったアスリートたちも、ラリーが続くようになり上達しました。



自転車

小松島競輪場ほか。自転車の好きなボランティアとアスリートが集まり、素晴らしい景色を眺めながら楽しくトレーニングをしています。



フロアホッケー

2020年冬季ナショナルゲーム北海道に出場が決まっているフロアホッケー。日本一を目指してチーム一丸となりトレーニングに励んでいます。



ボウリング

スエヒロボウル、石井ポップジョイ。今年6月、アスリートと県下の大学生ボランティアがペアを組んで、ボウリング交流会を開催しました。



バスケットボール

とくぎんトモニアリーナ(徳島市立体育館)。10月東京で開催された「第1回ユニファイドバスケットボール大会」に出場しました。



テニス

障がい者スポーツセンター体育館。小人数ながらコーチ、アスリート、ファミリーの団結力が光ります。6月の競技会では全員が入賞を果たしました。



陸上

徳島市陸上競技場ほか。陸上には10代の若いアスリートが多く在籍しており、短距離~長距離までそれぞれ目標に合わせてトレーニングしています。



サッカー

障がい者スポーツセンター体育館。今秋SON・徳島でプログラムとして立ち上がったばかりのサッカープログラム。子供から大人まで人気があります。



ダンスクラブ

障がい者交流プラザ。ダンスが大好きなSON・徳島のアスリートたちが集まって発表会に向けて楽しく練習しています。



アスリート紹介

ぼくは高1の時先輩にさそわれてスペシャルオリンピックスに入りました。たくさん仲間ができました。とても楽しいです。お母さんにもたくさん友達ができました。いろんな県に大会に行ったり県外にもたくさん友達ができました。これからも楽しんでいきたいと思っています。



さわ ともゆき
澤 朋行さん

スペシャルオリンピックスでの活動は、わたしにとって宝物です。たくさん仲間と一緒にスポーツを楽しむことがわたしの幸せです。最初は難しくできなかったことも、コーチや先輩たちが教えてくれるおかげで、上手になりました。上手になると、達成感ができるので、もっと練習する時間を増やしていこうと思います。



ほりえ もとみ
堀江 元実さん

2019年SON・徳島市阿波おどり

毎年8/12は
阿波おどりに
参加



SON・徳島は毎年「徳島市阿波おどり」に参加しています。連結成20年目を迎えた今年、高張提灯が老朽化により使えなくなったことから、クラウドファンディングで資金を募り高張提灯を新調しました。8月12日徳島市阿波おどりにアスリート、ファミリー、ボランティア約135名が参加し、新しくなった高張提灯を先頭に掲げて、ご支援への感謝を気持ちを込めて市役所前演舞場で乱舞を披露しました。(事務局 庄野)

2020年第7回スペシャルオリンピックス 日本冬季ナショナルゲーム・北海道へ!

フロア
ホッケー
出場



スペシャルオリンピックスでは、オリンピックと同様に4年ごとに夏季・冬季の世界大会を開催しています。2020年に北海道で「2020年第7回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・北海道」が開催されます。本大会へ徳島からフロアホッケー選手団を派遣します。

日本一を目指して頑張っているアスリートたちの応援をよろしくお願いします! (事務局 庄野)

(取材:丸山 明美・橋本 志穂)

認定NPO法人
スペシャルオリンピックス日本・徳島
理事長 田所 健作

住所:〒770-0005 徳島県徳島市南矢三町2丁目1-59
徳島県立障がい者交流プラザ内
TEL 088-634-3173 FAX 088-634-3177
E-mail office@son-tokushima.or.jp
URL http://www.son-tokushima.or.jp



自分の「悪」の経験を「善」に生かしたい

今回は設立3年目を迎える NPO 法人轍の理事長吉崎恵三郎さんにお話を伺いました。

轍は主な活動として、刑務所出所者（出所者の家族を含む）等の就職等の支援、相談を行っています。最近、ストーカーや嫌がらせ、ドメスティック・ヴァイオレンスのほかインターネット上の中傷被害者からの相談も増えているとのことです。

轍の設立のきっかけは、吉崎さん自身が出所後、職に就くことに大変苦労したそうです。そこで同じ境遇の人たちを支援する団体を創ることを決意。その後、知人から NPO 法人の話聞き、轍を設立することになりました。

「轍」という名前の由来は二つ。一つは同じ轍（てつ）を踏まない。そしてもう一つは車輪の通った跡という意味から。

「先人の通った道程・・・必ずしもその道が正解とは限らない」「何が正しくて、間違いなのか、曖昧になっている現代において、自分の意思を強く持ち、悔いのない人生を歩んで行く」という想いで名付けたそうです。

「自分の悪の経験を善に生かす」ことが、せめてもの罪ほろぼしになると考え、轍での活動の原動力になっているそうです。ただ、雇用する側の協力は得られても、相談に来た方が働くところを選ぼうとして謙虚さに欠けていることがあります。最近、状況が変わってきたと感じています。

やる気のない者に、やる気を起こさせることは簡単なことではない。やる気のある者には、悔いのない人生を歩めるよう、寄り添ってサポートしていきたいとおっしゃっていました。



NPO 法人 轍（わだち）
よしざき けいさぶろう
理事長 **吉崎 恵三郎さん**
〒770-8072 徳島県徳島市八万町中津浦 108-18
● <https://wadachi-tk.jimdo.com/>



生活困窮者自立支援強化事業研修会にパネリストとして参加

吉崎さんの将来の夢は、出所者向けの職業訓練や生活支援を行える施設を立ち上げることです。国が実施している「更生保護」と現実との狭間で、時間はかかってもフルタイムで働けるようにして、出所者の自立につなげたいと語っていました。

一日でも早く、吉崎さんの夢が実現し、誰もが未来像を描ける社会となることを、期待しています。

(取材：北岡 敏弘・橋本 志穂)

シリーズ この人から

研究開発に込めた想い

NPO 法人エコロジカル・ファーストエイド

理事長 / 研究員 さとう たかし 佐藤 貴志



しかし、技術は即効性はありませんが対症療法でしかなく、地域と力を合わせて根本解決に力を入れています。

“YOU” は、あなたに寄り添う技術、

当団体はNPOとしては珍しく、本気の研究開発、特許取得、学会発表、そして技術提供をしています。開発する技術は、地域住民が主人公となって「自然界へのファーストエイド（応急手当）」ができるもの。しかし、従来技術を凌駕する先進技術です。

主要な技術は、水質浄化装置 YOU、脱臭装置 YOU など環境問題全般に対応します。開発のコンセプトは、「自然界の自浄作用を最大限に引出すこと。」①誰でもが作れること、②化学薬品を使用しないこと、③フィルター等の消耗品を使用しないこと、④メンテナンスフリーであること、⑤低コストであることです。



あなたが主人公になれる技術という意味を持たせていますが、実は、発明者の長男、天国のゆうくんの名前と想いを受け継いでいます。ゆうくと共に過ごしたときに開発した技術。彼が旅逝^(た)ってから装置として完成させました。



YOU プロジェクト
水質浄化装置 YOU (特許第604721号、第5192608号ほか) 環境浄化微生物などの技術提供 / 培養、活用法など / 親子でできる自然界への応急手当、親子で参加する環境学習・講演など

発明者は、ゆうくに代わって技術を人々のために役立てています。その活動が多くの人に支えられ、エコロジカル・ファーストエイドとなりました。

“人のために生きることができるやさしい子になってほしい” 装置 YOU は彼に代わり人々のために生き続けます。

「ゆめバンクとくしま」寄付による助成事業報告

「ゆめバンクとくしま」では、団体、個人からのご寄付により、社会貢献活動団体へ支援を行っています。今回は、令和元年度の活動について、お知らせします。



徳島県生涯学習インストラクター・コーディネーターの会 / 講演・研修会の様子



KHJ徳島県つばめの会 / KHJ全国ひきこもり家族連合会徳島支部KHJ徳島県つばめの会講演の様子



徳島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 / 総合型地域スポーツクラブの質的充実を図るための研修の様子

イベントガイド

NPO・ボランティア団体ポスター展示会を開催します!

県民の皆さまに、県内で活躍している社会貢献活動団体をポスターでご紹介します。

●展示場所：徳島市シビックセンター 3F 市民ギャラリー

●展示期間：令和2年1月8日～1月18日

社会貢献団体が向き合う社会課題や活動内容をポスターにして展示しています。たくさんの方にご来場いただき、この展示会が、社会をよりよくする一歩になればと思います。



とくしま県民活動プラザ登録団体の皆様へ

団体登録に変更があった場合には、団体登録変更の手続きをお願いします!以下の登録内容に変更がありましたら、変更届をご提出ください

● 団体・代表者関係

1. 団体名 2. 代表者名 3. 所在地 4. 電話・FAX 番号など

● 連絡担当者関係

1. 連絡担当者名 2. 担当者住所 3. 担当者電話・FAX 番号など

変更届は、とくしま県民活動プラザ窓口においてあります。

プラザホームページからも変更届様式をダウンロードできますので、ご利用ください。変更届について、太線枠内の記入は変更箇所のみで結構です。

特に、法人設立された場合や事務局変更があった場合は、再登録が必要な場合もありますので、忘れないようご注意ください。詳しくは、とくしま県民活動プラザ事務局までお問い合わせください。

一生、いい歯と付き合うために。
「成人歯科健診を推進しています」

一般社団法人
徳島県歯科医師会
会長 森 秀司
徳島市北田宮 1-8-65 電話 088-631-3977



2020年4月入学生願書受付中! (最終締切2020年3月19日)

社会福祉学科

一般養成課程・短期養成課程 通信課程
(1年6ヶ月コース) (9ヶ月コース)

精神保健福祉学科

一般養成課程・短期養成課程 通信課程
(1年7ヶ月コース) (9ヶ月コース)

教育訓練給付制度
対象講座



詳しくは
QRコードから
HPをごらん
ください。

好きを仕事に
正 徳島県立パティシエ福祉カレッジ
〒760-0021 香川県高松市西の丸町14-10
TEL.087-823-5566

ハートリレー

No.49 木村さんから秋山さんへ



NPO法人 ふくろうの森 あきやま まさよ
秋山 真代さん

素敵な本の世界を伝えて

NPO 法人である「ふくろうの森」は鳴門市立図書館の様々な活動を今まで以上に充実し、活性化させたいと願う同志が集い、立ち上げられた団体です。鳴門市在住の秋山真代さんは、教員の傍ら少しでもお役に立てたらと毎年行われるバザーの商品を手作りし、自らも販売に参加しています。

彼女とは小中学生時代の幼馴染みで、その頃からお互い学校の図書室に入り浸り競争のように様々な本を借りて読んだものでした。

活字離れの叫ばれる昨今、本の素晴らしさを少しでも多くの子供達へ伝えたい。子供だけでなく、大人達にも子供の頃のあの気持ちを思い出してほしい。そのためにも、たくさんの方に足を運んでもらえる図書館になってほしい。その気持ちを抱え頑張っておられる先輩方のお手伝いをさせていただきます。

たくさんの子供達の笑顔が溢れる図書館に、私もまた足を運んでみたくなりました。

文・木村 浩恵



とくしま県民活動プラザ

●プラザ開館時間

開館時間:10:00~18:00

【研修室利用時間】

火曜日~土曜日:10:00~21:00

日・祝日:10:00~18:00

休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、

年末年始



●公共交通機関をご利用の場合●

JR徳島駅前、徳島市営バスターミナル6番のりばより、

・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリンターミナル」下車すぐ

・「沖洲・南海フェリー前(マリンピア経由)」行きに乗車「マリンターミナル前」下車すぐ

編集後記

とくしま県民活動プラザは、社会貢献活動を行うNPOやボランティア団体に対する中間支援組織として設立し、今日に至っています。当プラザは、電話やメールでのお問い合わせを随時受け付けています。ただ徳島県の東端に立地している関係で、県南部や県西部、県中部の団体の皆さんがお越しいただくには大変だと思います。そこで、プラザのほうから出向いて、できるだけ顔を合わせて話したいと常々感じています。

プラザでは、NPO等に身近な存在でありたいと思っています。活動で悩んでいること、困っている団体の皆さんのお力添えが少しでもできたら幸いです。(きたおか)

地域の中での自分の居場所づくり

人生100年時代「地域の中で自分を活かそう」

徳島文理大学保健福祉学部人間福祉学科准教授 古川 明美



仕事一筋の人生を過ごした場合、気が付くと定年を迎えているのが現実です。趣味のある高齢者は、その後の人生も有意義なものになり、特に趣味のない高齢者の方もボランティア活動や様々な活動に参加し、人生を謳歌されています。

地域には、経験から得た知識・技術を持つ素晴らしい人材が眠っています。それは、高齢者の方々です。人は誰かのために役立つことが生きがいになります。地域は、あなたを待っています。勇気を出して、第一歩を踏み出し自分のもつ経験を活かしてみませんか。

人生100年時代を迎え、健康寿命を伸ばすためには、人との繋がりづくりが最も大切です。これから先、自分の地域に災害が起きるかもしれません。そのような時に地域の人々との繋がりが大切になります。自分自身のためにも地域の仲間と支え合える地域づくりをしましょう。

子どもたちのボランティア活動

大歩危駅前集落体験プログラム 『はにかむ体験』 城ノ内高校JRC部

3年前、もっと地域にかかわる活動をしたと思っていたとき、三好市の地域おこし協力隊との出会いから生まれた『はにかむ体験』。大歩危駅に降りた観光客に、もっと地域の魅力を発信するにはどうすればよいか。大歩危駅のある徳善地区の方々との交流を重ね、考案・作成しました。徳善地区の良いところを知ってもらう14種類の体験は、ホラ貝吹きやみょうが収穫など、その場ですぐに体験することができます。“はにかむ”とは、蜂の巣にある六角形のハニカム構造から名づけられ、いろいろな力を持った地域の方々が集まって、地域を盛り上げたいという思いが込められています。「JRC部の先輩たちがつなげてくれた徳善地区の方々との縁を大切にしたい」人とまちもあたたかいこの場所をもっと知ってもらいたいと日々の活動に力を注いでいます。



徳島県医師会は「禁煙」を推進しています!



一般社団法人
徳島県医師会

会長 齋藤 義郎
徳島市幸町3丁目61番地
TEL 088-622-0264

CLEANUP 吉野川をきれいに!
参加団体、募集中。



吉野川交流推進会議
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
県民環境政策課内
TEL 088-621-2743
FAX 088-621-2758
E-mail office@yoshinogawa.org
http://www.yoshinogawa.org/

ふくしと私



社会福祉法人 小渦会

救護施設 小鳴門荘

介護職員 増原 文代

外出先ですれ違った方が施設の利用者さんに似ていました。「施設に入らず暮らしていたら、どんな人生を送っているのだろう」と思いました。

私が働いている救護施設は、身体や精神に障がいがあり、何らかの課題を抱えているため日常生活を営むことが困難な要保護者の方が入所し、生活扶助を行うことを目的とする施設です。最後のセーフティネットと言われており、利用者さんのバックグラウンド、経歴、年齢、既往歴も様々です。

長年、利用者さんと接していると、今まで知らなかった利用者さんの側面を知る事がありません。

施設行事の演芸大会では、利用者さん有志が化粧して着物で踊ったり、歌を披露したりして様々なパフォーマンスを見せてくれます。普段とは違う、生き生きとした個性の輝きを見るこ

とができました。

また、年上の利用者さんは人生の先輩であり私に多くの事を教えてくれます。それは、戦争の話であったり、裁縫や園芸の話題です。時にはこちら

らがケアする場面でも、職員を気遣ってくれたり励ましてくれる方もいました。いつも温かい気持ちで分けてくれる方もいました。そんな先輩方の中には既に亡くなられた方もいます。若い世代も増えており、今までと違う対応の難しさを感じる日々です。

近年、大規模災害の発生や社会情勢の変化により、2015年にできた新しいセーフティネットが「生活困窮者自立支援制度」です。働く意思がある人を対象に一時的に支援して、自立を促す制度です。当施設においては「地域移行支援」で、居宅訓練事業が2011年から開始されています。

演芸大会の風景



救護施設は閉ざされた場所ではなく、地域と共生できる開かれた場所へと変化する事が求められています。置かれている環境が変化する中においても「人対人」の仕事に変わりはないし、心と心が通じ合えた瞬間を味わう事が喜びであり、福祉の仕事なのだと思えます。



施設風景

第73回全国児童養護施設長研究協議会

全国から児童養護施設の施設長が集まり、「新たな時代の社会的養護をきり拓く」を大会テーマとして「第73回全国児童養護施設長研究協議会」が11月27日から3日間にわたり、徳島グランヴィリオホテルなどを会場に開催しました。

現在、全養協では、児童養護施設が長年の実践を通して積み上げてきた養育について整理し、今後の施設のあり方を示すことを目的に「児童養護施設のあり方に関する特別委員会」を立ち上げています。今大会では、その検討状況の中間報告が行われ、すべての子どもたちの命と人権が守られ、安心できる社会の実現に向けた新たな時代の児童養護施設の役割とそのあり方について議論を深めました。

また、「第39回児童文化奨励絵画展」を開催し、全国の児童養護施設の子どもたちが描いた絵画を展示しました。

徳島県児童養護施設協議会では、オレンジリボン運動を推進しています。オレンジリボン運動は、「子ども虐待のない社会の実現」を目指す市民運動です。皆さんが、それぞれ胸にオレンジリボンを着けることで、子ども虐待防止の活動に参加していただけます。この活動の広がりは、社会を変えます。「一人一人ができること」をして、「子ども虐待のない社会」をつくりましょう。

「オレンジリボンすだちくんピンバッジ」を販売しています。

購入を希望される方は、徳島県児童養護施設協議会（事務局 / 県社協 tel.088-654-4461）までご連絡ください。



ありがとうございます

預託 ●全国農業協同組合連合会徳島県本部様・JA徳島農政協議会様より、児童養護施設7ヶ所へ阿波そだち(コシヒカリ)新米500kgの御寄贈 ●公益財団法人徳島県生活衛生営業指導センター様より、児童養護施設常楽園利用者様へそば打ち体験・試食の御提供と特別養護老人ホームケアプラザみま利用者様へ散髪の御提供 ●徳島県阿波牛販売推進協議会様より、児童養護施設7ヶ所へ牛肉50kgの御寄贈 ●AIR オートクラブ徳島支部様及び損害保険ジャパン日本興亜株式会社様より、特別養護老人ホーム阿波老人ホーム御所園へ車いすの整備・清掃活動の御提供

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成31年度

ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

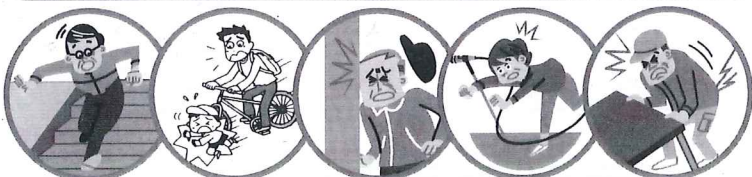
ふくしの保険 検索

保険金額		年間保険料 (1名あたり)	
プラン	Aプラン	Bプラン	タイプ
死亡保険金	1,040万円	1,400万円	基本タイプ
後遺障害保険金	1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)
入院保険金日額	6,500円	10,000円	天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)
手術保険金	入院中の手術 65,000円	100,000円	天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)
	外来の手術 32,500円	50,000円	
通院保険金日額	4,000円	6,000円	
特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
葬祭費用保険金 (特定感染症)	300万円(限度額)		
賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		

タイプ	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	350円	510円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)	500円	710円

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険) **送迎サービス補償** (傷害保険) **福祉サービス総合補償** (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 (引受幹事) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
 営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

地域とお客さまの「ベストパートナー」へ



阿波銀行
<http://www.awabank.co.jp/>

環境にやさしい銀行を目指し
 環境保全活動に取り組んでいます。



つみあえばとくぎん **徳島銀行**
<http://www.tokugin.co.jp>



とくしま権利擁護センター

どこでも同じ権利擁護サービスが受けられる体制づくりに向けて

とくしま権利擁護センターは、平成27年4月に徳島県社会福祉協議会内に設置されました。福祉サービスが、措置から契約へと移行することに併せ、判断能力に不安を感じている方に対しては、民法の成年後見制度と厚生労働省の補助事業である日常生活自立支援事業などがありますが、当センターは、県下24市町村社協と連携し日常生活自立支援事業を実施するほか、さらに判断能力が低下した場合などに成年後見制度へ移行を支援するなど2つの制度の切れ目ない支援を行うことを目的としています。

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などを対象に福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等預かりを行うもので、県社協、市町村社協、利用者の三者の契約により実施しており、利用者は本年8月末現在438人となっています。

成年後見制度は、本人、親族などの家庭裁判所への申立により家庭裁判所の審判で判断能力の程度により後見人、保佐人、補助人が選任され代理権や同意権などにより本人の権利を擁護する制度で、

平成30年末の県内利用者は1,588人となっています。国においては、昨今の認知症高齢者や障がい者の増加に比べ、成年後見制度の利用者が伸び悩んでいるとして平成28年5月に成年後見利用促進法を施行、翌年3月には、成年後見制度利用促進法を閣議決定し、利用促進に努めており、市町村において利用促進に係る「市町村計画の策定」と成年後見の総合相談窓口となる「中核機関の設置」を令和3年度末まで(平成29年度からの5年間)の努力義務としています。

県内では、計画期間の半ばを迎えている今年度までに計画策定、中核機関の設置とも達成できている市町村はなく、令和3年度の期限までに達成見込みの市町村も双方とも4、5カ所に留まっています。

当センターにおいては、県民の皆様がどこに住んでも同様な成年



リーフレット、マニュアルなどの問合せ先
とくしま権利擁護センター / tel.088-611-1155

テーマ募金にご支援ご協力をお願いします。

障がい者のメッセージを伝える「やまびこの詩」 NPO法人徳島県ボランティア協議会

「やまびこの詩」は、心身に障がいを持つ人たちが詩を募集し、それらを朗読や歌で発表しています。障がいを持つ人が、胸の奥にしまいこんでいる願いや悩み、愛する人への言葉を、メッセージとして広く伝え、共に生きる社会の実現をめざして活動しています。若い世代も積極的に取り組んでいますので、応援をお願いします。

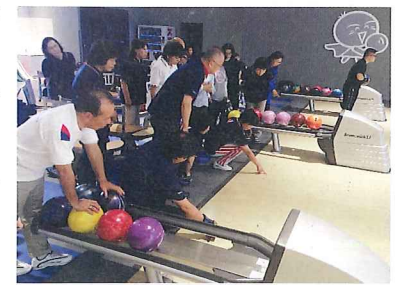


●募金目標額 15万円

知的障がいのある人たちの 社会参加を応援するための活動募金

認定NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・徳島

スペシャルオリンピックスの使命は、知的障がいのある人たちに継続的にスポーツトレーニングと競技の場を提供し、健康を増進し、地域の人々と友情を分かち合う機会を継続的に提供することです。徳島県内においてこの取り組みを拡大するために、ご支援をお願いします。



●募金目標額 30万円

生活困窮者に対する生活用品貸与(給付)事業 とくしま・くらしサポートセンター (県社会福祉協議会)

生活困窮者の就職活動や生活の立て直しに向けた一歩を応援しています。この事業で取り扱う生活用品とは、フォーマルなスーツや自転車など就職活動や就労継続のために必要な物品、炊飯器や電子レンジなどで自炊等による経済的な生活を送るために必要な物品のことで、皆様からも応援よろしくお願いします。



●募金目標額 10万円

徳島県共同募金会

徳島県共同募金会では、令和2年1月から3月末にかけて新たな手法による募金活動として、次の5団体がそれぞれ主体的に募金を呼びかける事業(テーマ募金)に取り組んでいます。このテーマ募金は、地域の様々な社会課題の解決に向けて、NPO法人等の活動に必要な資金を募集するものです。皆様からの暖かいご支援・ご協力をよろしくお願いします。

テーマ募金の内容を 紹介します。

おなかいっぱい心もいっぱい「気まぐれ子ども食堂」

クリネット徳島

親の多忙や貧困などにより家族と楽しい食卓を囲むことができない、たったひとりで食事をしなければならない、食事を用意してもらえない子どもたちが年々増えています。そんな子どもたちに「無料」で温かい食事を提供し、和やかな交流の場をつくりたい、と活動しています。皆様のご支援よろしくお願いします。



●募金目標額 15万円

「2020年東京オリンピック・パラリンピックで 太鼓を叩こう」障がい者の夢をかなえるプロジェクト

NPO法人 太鼓の楽校

NPO法人太鼓の楽校は、三宅島芸能同志会の津村氏と協力し、2020年パラリンピックイベントで、障がいを持った人たちと共に三宅太鼓を打ち鳴らし、日本の心を世界へ発信します。全国の障がい者と共に感動を分かち合い共有することを目標にして、三宅用の太鼓の購入資金と津村氏の指導を目的に募金事業を行います。よろしくお願いいたします。



私達は笑顔でがんばる!!

●募金目標額 50万円